

各 位

会 社 名 株式会社 JVC ケンウッド
 代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 江口 祥一郎
 (コード番号 6632 東証第一部)
 問合せ先 取締役 兼 CFO 藤田 聡
 (TEL 045-444-5232)

平成 25 年 3 月期通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当第 3 四半期以降の業績動向や為替動向をふまえ、以下のとおり、平成 24 年 11 月 1 日に公表しました平成 25 年 3 月期通期業績予想を修正することといたしました。また、これをふまえて、平成 24 年 11 月 1 日に公表しました平成 25 年 3 月期配当予想を修正することといたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 通期業績予想数値の修正(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 24 年 11 月 1 日発表)	320,000	14,000	9,000	7,000	円 銭 50 48
今回修正予想 (B)	310,000	10,000	5,000	3,000	円 銭 21 63
増 減 額 (B-A)	△10,000	△4,000	△4,000	△4,000	
増 減 率 (%)	△3.1	△28.6	△44.4	△57.1	
(参考) 前期実績	320,868	12,813	6,420	6,032	円 銭 43 50

(2) 通期業績予想修正の理由

当第 3 四半期連結累計期間は、エンタテインメント事業が引き続き好調に推移しましたが、カーエレクトロニクス、業務用システム、ホーム&モバイルエレクトロニクスの各事業で欧州販売が振るわず、年末商戦期でも挽回できなかったことに加え、カーエレクトロニクス事業における国内販売の回復遅れ、業務用システム事業における中国販売の回復遅れなどがマイナス要因となり、全社の売上高は想定を下回りました。

損益については、エンタテインメント事業が想定を上回りましたが、エンタテインメント事業を除く 3 事業で売上高が想定を下回った影響などにより、全社の営業利益は想定を下回りました。

第 4 四半期は、カーエレクトロニクス事業と業務用システム事業が年間で最も大きな販売機会を迎えること、ホーム&モバイルエレクトロニクス事業ではカムコーダーの新商品投入期となることから、当期最大の四半期売上高・営業利益を見込んでおりますが、当社にとってマイナス要因となる対米ドルでの円安傾向が続いていることや欧州経済の低迷が長引いていることなどをふまえ、平成 24 年 11 月 1 日に公表しました平成 25 年 3 月期通期業績予想を修正することといたしました。

なお、第 4 四半期の為替レートは米ドル：95 円、ユーロ：125 円を前提といたしました。

2. 配当予想の修正

(1) 1株当たり配当予想額

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
前回発表予想 (平成24年11月1日発表)			—	円 銭 10 00	円 銭 10 00
今回修正予想				円 銭 5 00	円 銭 5 00
当期実績	—	円 銭 0 00	—		
(参考) 前期実績	—	円 銭 0 00	—	円 銭 5 00	円 銭 5 00

(2) 配当予想の理由

当社では、安定的に利益還元を行うことが経営上の最重要課題の一つと考え、収益力および財務状況を総合的に考慮して剰余金の配当およびその他処分などを決定することとしております。

平成25年3月期配当予想につきましては、年間配当予想額を1株当たり10円（期末配当金）としておりましたが、前記の連結業績予想の修正をふまえて、年間配当予想額を前期実績と同額の1株当たり5円（期末配当金）に修正させていただきます。

(注) 本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上